

子育て支援充実目指す

塚田「子ども医院内 18日から本格運営

上越市病児
保育事業開設

上越市は18日から、栄町の塚田「子ども医院併設」わたぼうし病児保育室で「上越市病児保育事業」を開始し、子育て支援の更なる充実を図る。16日、同医院でオープニングセレモニーが行われた。



関係者が看板の除幕をし開設を祝った

セレモニーは同医院の塚田次郎院長をはじめ、上越市議会厚生常任委員会の委員ら関係者が出席し行われた。村山秀幸副市長は塚田院長に感謝を述べるとともに「子供を育てながら働くみなさんの力になればと考えている。市を挙げて住みよいまちづくりに取り組んでいきたい」とあいさつした。塚田院長は「子供たちが住みやすい、子育てしやすい上越市を目指し一層努力していく」と語った。出席者は「上越市病児保育事業わたぼうし病児保育室」と書かれた看板の除幕式を行い、開設を祝った。

病児保育室は病気の回復期に至っていないため集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合などで家庭での看病や保育も難しい乳幼児・児童を短期間預かる施設で、仕事をしながら育児をする保護者の支援を目的とする。同医院では2001年の開設以来、独自に運営をしてきた。上越医師会との協議を経て同医院への事業委託が決定し、18日から本格稼働する。県内では新潟市、十日町市に続いて3番目の開設となる。

4月20日から利用の事前登録が始まっており、市によると既に児童340人の登録があるという。市では「第2、第3の病児保育事業開設を目指していきたい」と話している。

利用の対象となるのは、市内の保育園、幼稚園、小学校のいずれかに在籍しており、市内に住所を有する生後3か月から小学校3年生までの児童。開設日時は月・金曜、午前8時〜午後6時。保育料は1人1日、2000円。

利用の問い合わせはわたぼうし病児保育室544・7779。

上越よみうり

平成21年5月17日(日)

わたぼうし

病後児に続き病児保育

上越市が民間委託事業

上越市栄町二のわたぼうし病児保育室が、開設する病児保育施設。併設する塚田「子ども医院」は年々高まっている。施設に切り替わる。これに先立ち16日、同施設で記念式典が開かれた。

同施設は、疾病中で集団保育が困難な病児や児童を、就業などの保護者に代わって短期預かりする病児保育施設。併設する塚田「子ども医院」は年々高まっている。施設に切り替わる。これに先立ち16日、同施設で記念式典が開かれた。

同施設は、疾病中で集団保育が困難な病児や児童を、就業などの保護者に代わって短期預かりする病児保育施設。併設する塚田「子ども医院」は年々高まっている。施設に切り替わる。これに先立ち16日、同施設で記念式典が開かれた。

同施設は、疾病中で集団保育が困難な病児や児童を、就業などの保護者に代わって短期預かりする病児保育施設。併設する塚田「子ども医院」は年々高まっている。施設に切り替わる。これに先立ち16日、同施設で記念式典が開かれた。

市の事業受託施設に生まれ変わる、わたぼうし病児保育室。子どもたちが看板の除幕を行った



人から、昨年度は七・六人に増加。市民のニーズは年々高まっている。同施設は、疾病中で集団保育が困難な病児や児童を、就業などの保護者に代わって短期預かりする病児保育施設。併設する塚田「子ども医院」は年々高まっている。施設に切り替わる。これに先立ち16日、同施設で記念式典が開かれた。

同施設は、疾病中で集団保育が困難な病児や児童を、就業などの保護者に代わって短期預かりする病児保育施設。併設する塚田「子ども医院」は年々高まっている。施設に切り替わる。これに先立ち16日、同施設で記念式典が開かれた。

同施設は、疾病中で集団保育が困難な病児や児童を、就業などの保護者に代わって短期預かりする病児保育施設。併設する塚田「子ども医院」は年々高まっている。施設に切り替わる。これに先立ち16日、同施設で記念式典が開かれた。

同施設は、疾病中で集団保育が困難な病児や児童を、就業などの保護者に代わって短期預かりする病児保育施設。併設する塚田「子ども医院」は年々高まっている。施設に切り替わる。これに先立ち16日、同施設で記念式典が開かれた。

上越タイムス

平成21年5月17日(日)